



# 杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員の会（さくら会）

杉並支部HP <http://tokyousosuginami.web.fc2.com>

〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内 Tel 3399-8719 Fax 3399-3855

## 今年から さくら会紙上ギャラリー開設!

- 以前から、杉並でも他地区の退教が開催しているような「作品展」をやってほしい：という要望が出ていました。会場を訪れる方々との交流もできて楽しいですね。でも、会場取り、搬入搬出。展示作業、案内、費用など考え、実現できずにいました。どなたか進んで世話役を引き受けてくださる方はいないかなあ。

- そんな中、昨年来のコロナ騒ぎ。どの地域でも作品展が中止になりました。せめて「紙上ギャラリー」ならできるのではないかと考えていたのですが、7月になってしま

いました。

- というわけで今回同封のような「さくら会紙上ギャラリー」となったわけです。

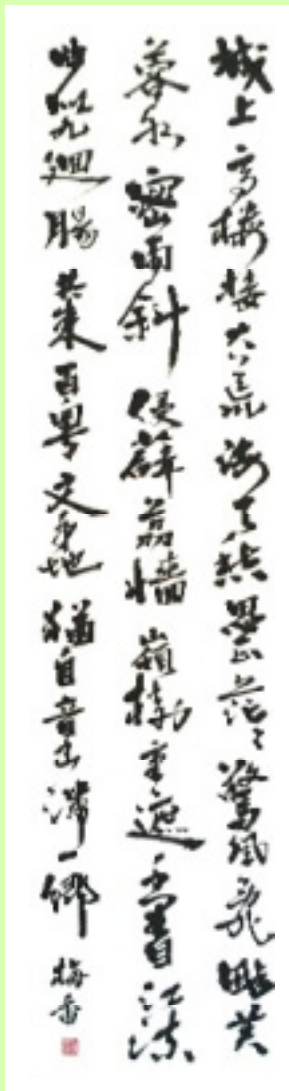
- 編集をしている中で、「書の作品」が欲しいな：と思っていたのですが、石井秀子さんの夫君、由和さんからメール送付で作品が届きました。でも、残念。ちょうど印刷が完成したところ。秀子さん（梅香さん）第二作、用意しておいてくださいね。

- 次の「さくら会ギャラリー」発行は来年5月となりますが、みなさん、ふるってご参加ください。手芸、生け花もいかが。

係 Ⅱ たかぎ

書「柳宗元の漢詩から」

石井 秀子 (元永福小学校)



## 前ページの 石井秀子さんの書について・・・

共 來 百 粵 文 身 地	嶺 樹 重 遮 千 里 目	驚 風 亂 颭 芙 蓉 水	城 上 高 樓 接 大 荒
猶 自 音 書 滯 一 鄉	江 流 曲 似 九 迴 腸	密 雨 斜 侵 薛 荔 牆	海 天 愁 思 正 茫 茫

・漢詩の作者 柳 宗元（りゅう そうげん） 七言律詩

\* 柳州の城楼に登りて  
漳・汀・封・連の四州の刺史に寄す

作者は失脚した王叔文の一党として流罪となっていました、いったん都に呼び戻され、すぐさま柳州の刺史に出されました。

この詩は、このとき同じく再び流された四人の同志に贈ったものです。



## 紙上ギャラリーの 濱谷さち子さん作品「藍染ののれん」について

「小平団地の 染の会《アイの会》をつくって、毎月2回、楽しんでいます。その時の作品の『暖簾』です。まだまだ初心者です。」（作品の添え書きから）

## 核兵器 禁止条 約批准

去年11月の杉退教たより170号で紹介したように、「核兵器禁止条約」が国連で採択され発効しました。

50カ国以上の批准で成立する同条約ですが、現在54カ国が批准しています。

### 日本政府も核禁止条約に参加を！

ところが、みなさんご存じの通り、唯一の戦争被爆国である日本の政府はこの批准に背を向けています。理由は、批准国と核保有国との溝を深めてしまう。日本政府としては「保有国・不参加国と核廃絶に向けての橋渡しをする」のだそうです。そのために「国際社会をリードする」とまで言っています。

あれから半年以上過ぎました。日本政府はどんな働きかけを国際社会にしてきたのでしょうか。聞こえてくるのは、オリンピック開催の協力を呼び掛ける声だけです。

\* 橋渡し仕事せぬうち橋できた \* 核無くす橋できたのに渡らぬか

\* 橋渡し掛け声だけでは架けられぬ \* 橋渡し向こう岸から架けられぬ

広島から、長崎から、被爆体験をした多くの方々、平和と子どもたちの未来を考える人たちから「日本も批准をして・・・」の声が上がっています。（次ページに）

## 日本政府に批准を求める意見書を出した地方議会581(6月末現在)

日本全国の自治体数1788の内、意見書を出した581は率にすると31%です。一番進んでいるのは岩手県で100%。広島県は75%。長崎県・秋田県・山形県・福島県・新潟県・長野県・岡山県・高知県などいずれも50%以上の県内議会が意見書を政府に提出しています。

東京都はどうでしょう。まだ17%にとどまっています。しかも、市部が多く、23区で意見書を決議したところはありません。原水禁運動発祥の地＝杉並は？

## 「核兵器禁止条約に署名・批准することを 杉並区議会として日本政府に求める」 ＝ 市民の陳情を自・公・維新が反対 ＝

【杉並平和委員会機関紙 杉並平和新聞 6月号の記事から】

杉並平和委員会は、昨年11月16日に陳情書を提出しました。同趣旨の陳情が新日本婦人の会杉並支部、杉並原水爆禁止協議会からも提出されました。

杉並区議会では委員長の裁量が強く、陳情・請願の審査率が異常に低く、前議会では審議されませんでした。今議会では、委員長に共産党の富田議員が選出されたので取り上げられました。6月4日、区議会区民生活委員会から陳情について審議することになったので、補足説明がある場合には、休憩時間に発言ができると連絡がありました。

新婦人・杉並支部支部長の織田ふき子さんは、新婦人会長の笠井さんが2017年のニューヨーク国連総会に参加した時に目の当たりにした、日本政府代表の姿勢・態度が許せなかったと報告されたことや、原水爆実験反対署名運動のきっかけをつくった菅原夫妻のこと、杉並がその署名運動発祥の地となったことを発言しました。

杉並原水協の小関啓子さん（\*元富士見丘中学校）は、スペインの地で原水爆禁止署名を訴えた時、市民が「ヒロシマ」を知っており、すすんで署名してくれたことや、23区内ではまだ議会決議がないので、先陣を切って欲しいと発言しました。

私は（\*佐々木征さん 元所沢市教員）杉並平和委員会を代表して、小学生の時、区内を巡回した「原爆展」を見たこと。核の傘のなかで安全が保障されているというのは錯覚であること。核抑止といっても核を使用するという前提であり、決して許されないなどと発言しました。

その後、各党が意見表明をするだけで採決となってしまいました。

自民党は、核兵器に固執する周辺国の指導者がいるなかで、条約は立派であっ

ても核兵器を否定するわけにはいかないという日本政府に付度する意見を述べ、住民の直接の声を大事にしていく姿勢ではありませんでした。

公明党は、核禁条約は核兵器の使用・製造などを禁止する画期的条約だと言いつつ結論は自民党と同じで、都議会でも表明したという発言をオーム返しに読みあげただけでした。維新は終始ダンマリ。

本会議では人数が多く議論しあうのは無理ですが、委員会審議ではせめて議員同士がお互い議論すべきではないでしょうか。結局自民3名、公明1名、維新1名の5名が反対。共産2名(うち1名議長)、無所属1名、立憲1名の3名が賛成。何と賛成少数でした。(※せめて継続審議くらいにはしてほしかった)

この日の委員会には、杉並の被爆者団体である光友会の方や、多くの方が傍聴されていました。(佐々木 征)

(全体の編集担当=加藤恵子さん 元私立学校教員) \*注は杉退教で記入



\*このポスターは、平和都市宣言をしている杉並区が区内の児童・生徒から募集した「平和ポスター」で入選した小学生の作品です。核兵器禁止はこのポスターを作った児童の気持ちともつながっています。  
\*これからも粘り強く運動をすすめていきましょう。

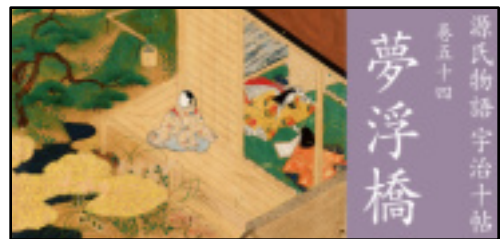
## 挑戦『源氏物語』宇治十帖を読む②

池田茂都枝 (元大宮中学校)

おせんべいをきっかけに始まった「源氏物語」読書会もメンバーが三人になり、5月29日に最後の巻の「夢の浮橋」が終わった。そして6月5日には最初に戻り、巻一の「桐壺」に入った。

さて、副題に「宇治十帖を読む」と書いたが、正確には、光源氏没後の九年目から始まる合計十三の巻を読み終えたということである。十三巻の最初の三つは「匂宮」「紅梅」「竹河」で、生前の光源氏ゆかりの人物が描かれ、次いで、「橋姫」から「夢の浮橋」までの十巻が宇治を舞台として描かれて「宇治十帖」と呼ばれているのである。

裏面に十三巻の構成図を掲載したが、「宇治十帖」の主人公は、光源氏の弟である八宮の三人の娘、大君・中君・女君(浮舟)と、光源氏の息子である薫と孫の匂宮の五人、つまり「いとこ」と「いとこおい」たちである。「橋姫」「椎本」



「総角」では大君と薫の関係が、「早蕨」「宿木」「東屋」では中君と匂宮との関係が、「浮舟」「蜻蛉」「手習」「夢の浮橋」の四巻では女君と薫と匂宮の三角関係が順番に描かれていく。そして、三人三様の女性の生き方が注目される。

大君は最後まで薫を拒み、匂宮との間に子を得た中君は、薫との間に常に一線を引いて自分の立場を守ろうとする。入水未遂に終わった女君は出家し、尼君の娘婿の求婚を拒否し、薫からの文も拒否して返してしまう。この女君について、角田光代はあとがきで、「人間たちに翻弄されながら、誰を頼ることもせず、個、自分自身を獲得していく」（『源氏物語』角田光代訳/河出書房新社 p 596）と述べているが、それは、京からはるか離れた鄙の常陸で育ち、和琴も箏も琵琶も伝授されず、手習いに邁進する東女（あずまおんな）として自然に身に着けた強さ故ではなかつたらうか。比して、「人の、かくし据ゑたるにやあらむ」と考える薫が、なんと古臭く感じられることか・・・。

源氏亡き後の「宇治十帖」の世界、それは、光源氏の時代の女性とは異なる、女君（浮舟）に象徴される「自立」していく新しい女性の生き方の提示だったといえよう。その姿はまた、大君と中君にも垣間見えていたのであった。

なお、女君は「手習の君」とか「東屋の君」とか呼ばれていたが、江戸時代の北村久備の『源氏物語』の注釈書『すみれ草』により「浮舟」に統一されたようである。

いけだ もとえ

・「匂宮」を含む三つの巻と「宇治十帖」の構成図 一光源氏が亡くなってから九年後（八年間の空白）の話を始める— 2021-8-1 修正





### ● 長野県佐久から 石井 由和さん

地区で輪番制なのか、22世帯の区長が回ってきて、それも区長会では年配者はいろいろできるだろうと、春日地区防犯指導員会長もついて…役所との往来やら、忙しい日々を送っています。

自然相手では、何とか順調に田植えまで終わりました。ただ、体力も落ち、ミニ耕運機を購入、助かっています。

自然観察では、カエルのいろいろ、ホトトギス、ホオジロなど鳥の鳴き声、草花の変遷など楽しんでいきます。また、自然を見る視点はやはり本から『英国貴族、領地を野生に戻す』など興味をそそられています。

(長野県佐久在住・元泉南中学校)

### ● 河西 雅宣さんから

去年の3月に再任用も退職し、去年の4月から区内の保育園で週3日、1日7時間のパートとして保育補助をしています。フルタイムに比べて体は楽になりました。

コロナで退職後の楽しみにしていた旅行にも行けず、外出もほとんどできず、ストレスがたまります。

(杉並区久我山在住・元天沼中学校)

### ● 春日 陽子さんから

3校目の宮前中で大変お世話になった先生が亡くなられてしまいました。学校の裏に捨てられていた猫を飼っていたただいたご縁で、その先生ご夫妻がダイビングに行かれるときは、うちで猫をあずかっていたいました。お元気でいらしたら、私も退職後、一度は小笠原につれて行っていただこうと思っていましたので、今回、散骨に同行させていただく事にしました。まだ若かった私のやる事を否定もせず、見守り、応援して下さいのおかげで、無事65まで務め引退したことを御報告し、お礼を言いたいと思っています。

(杉並区高円寺南在住・元西宮中学校)



## 2020年度杉退教会計監査報告

会計報告については2021年5月の173号に記載した通りですが、会計監査については5月25日(火)杉並支部事務所で行いました。現金会計・切手会計ともに正確に記載されており、繰り越し金額・繰り越し切手にも間違いありませんでした。

小杉 澄子

